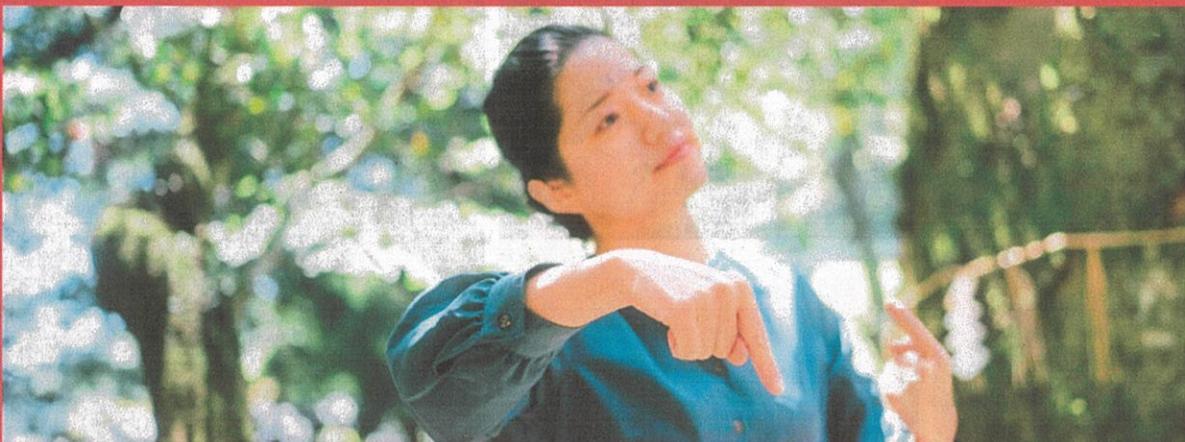
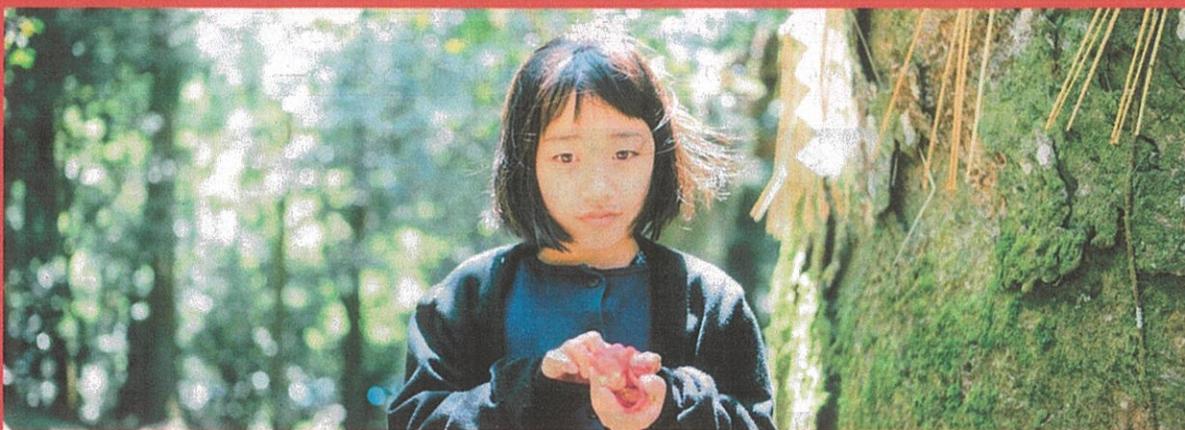
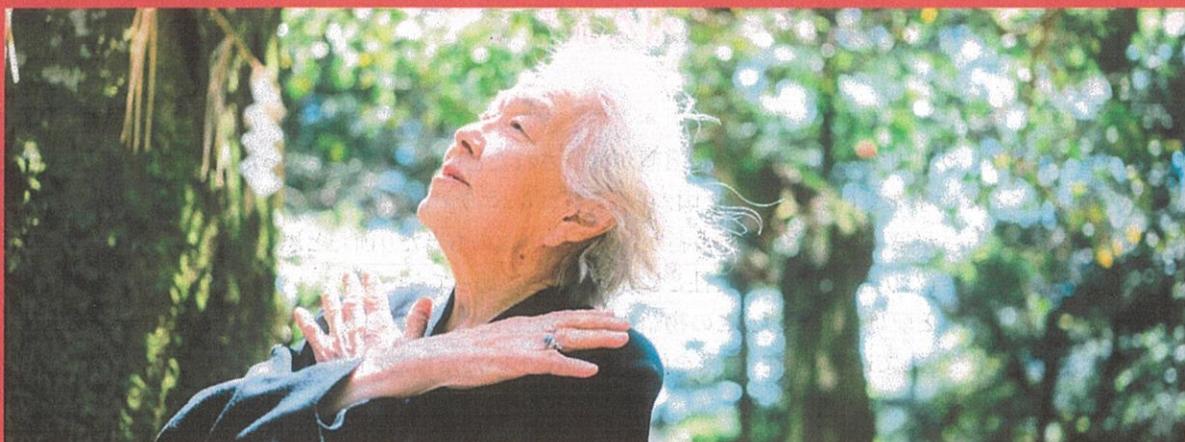


私たちの痛みを見てほしい —



please bless us

わたしたちに祝福を

片岡美美子 番匠七海 横尾友美 村上信次 雫境 (DAKEI)

2024年 / カラー / 60分 / 一部のみ音声 宣伝:「わたしたちに祝福を」映画製作委員会

後援: 社会福祉法人全国手話研修センター 一般社団法人長崎県ろうあ協会 一般社団法人京都府聴覚障害者協会 福岡県難聴者・中途失聴者協会

協賛: 京都芋屋 芋と野菜 shepri beauty salon 芦屋川手話cafe & BAR <Knot> 魚師 井上富夫 麴屋義

旧優生保護法による強制不妊、
手話が禁止された時代、障害者と女性への賠償金の減額…
ろう者女性の生きづらさを繊細かつ強烈な描写で
描いた芸術的映画

女性であることと障害者であるという理由で裁判において賠償額が減少されたというニュースを知った時、今なお差別が残っていることに衝撃を受けました。幼い頃からろう者コミュニティで強制不妊についてよく聞いており、また聾学校で手話が禁じられ、多くのろう者が苦しんでいたのも当たり前だと思っていました。しかし、大人になった今、当たり前ではない、女性として、母として、怒ってもいいと思いました。その怒りがきっかけで映画制作へと駆け出しました。この物語には、わたしたちろう者の女性の痛みや愛が詰まっています。3つの物語を通して過去、現在、未来を体感、共感していただけたら嬉しいです。

(横尾 友美 監督)

STORY

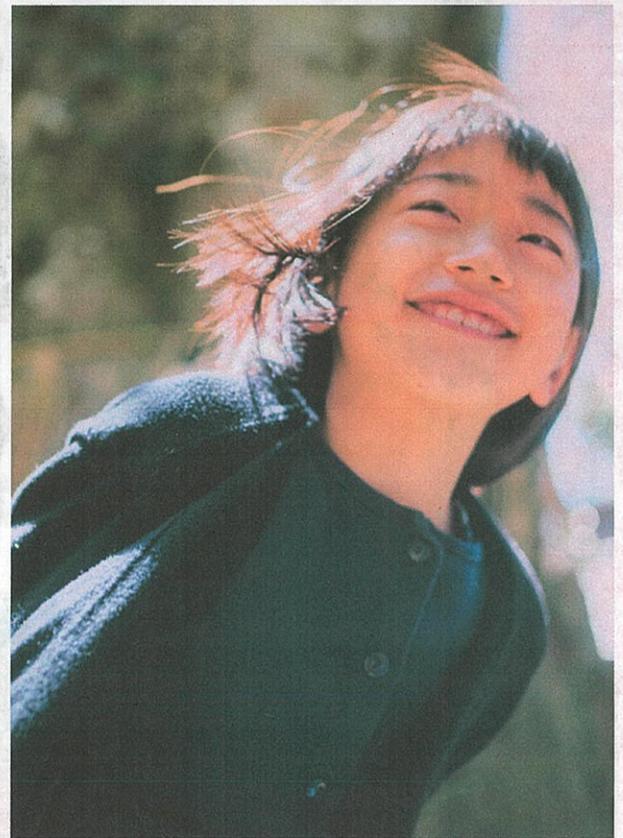
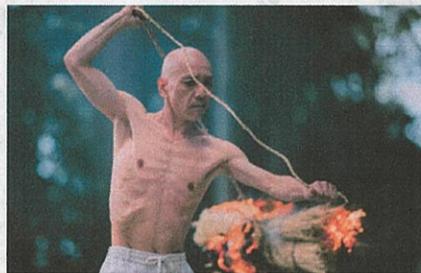
夫を亡くし、過去と現在を行き来する高齢女性、手話が禁じられ、日本語を身に付けることができなかった母を見つめる娘、子どもが欲しい女性…3人の女性の繰り返される痛みの先には何があるのか—



監督・脚本・出演・編集

横尾 友美

「LISTEN-リッスン-」映画出演



あつま手話の会『てのひら』 創立30周年記念
映画「わたしたちに祝福を」 上映会 in 厚真町

2026 3/29 SUN 受付13:00
上映13:30

厚真町総合福祉センター 大集会室
(〒059-1601 勇払郡厚真町京町165-1)

参加費 500円
(高校生以下無料)

- ・当日現金払い。下記より事前申込みをお願いします。
- ・英語と日本語の同時字幕です。
- ・手話のわからない方でもご覧いただけます。(ほぼ無音映画になります。)
- ・喫煙、一部暴力場面があります。ご了承の上ご鑑賞ください。

◀左記のQRコードを読み取り、
フォームにてお申し込みください。



クラウドファンディングのリターンの全国共通特別鑑賞券をお持ちの方は、フォームお申込み&当日鑑賞券をお持ちください。

プログラム

【第1部】

映画上映 (60分)
監督ビデオメッセージ

【第2部】

ろう者、聴者の対談 (20分)
手話体験・手話コーラス

お問い合わせ

メール: atsuma.handsign@gmail.com (山下)
FAX: 0145-29-7335 (土居)

主催 映画「わたしたちに祝福を」厚真上映実行委員会

後援 厚真町/厚真町教育委員会/厚真町社会福祉協議会

苦小牧民報社/あつま手話の会『てのひら』



ATSUMA LOVERS

きこえる人も、
きこえない人も、
映画を通して
「生きる」を考える

最新情報はこちらで随時ご案内いたします //



Instagram

映画公式サイト

Facebook

お申込み
方法